



第5回 白樺プロジェクト

森林ツアーと樹皮採集ワークショップ

参加者

募集

日時：2025年7月5日(土曜日)、6日(日曜日) ※単日のみの参加も可、小雨決行

場所：北海道大学雨龍研究林(幌加内町) ※宿泊は研究林研究棟にて

(札幌から高速道路利用で約2時間40分、旭川から約1時間40分)



HOKKAIDO SHIRAKABA PROJECT

白樺プロジェクト

「植林」ではなく、森本来の力を活かした「天然更新」による森づくり

これから半世紀にわたって研究林で行われる「シラカバ天然更新」の研究を通して、北海道の森について一緒に見て触れて考えるツアーです。

かつて北海道は「森林資源は無尽蔵」と言われ、現在でも豊かな森林が広がっているように見えます。

しかし、戦後の大量伐採で太くて良質な木は激減し、特に広葉樹の自給率は日本全体で1割以下と言われます。

広葉樹は「世代交代」が難しくとても長い時間がかかり、人の手で育てづらい特徴があります。

では、北海道に住む私たちはどのように森を保全回復しながら、利用して行けばよいのでしょうか？

それを考える一つのカギとなるのが、これまで林業的な価値が低いとされてきた「シラカバ」です。

シラカバだけではなく他の樹種や森全体についても学び、森を歩き、座学も交えながら参加者と一緒に考えるツアーです。

また、この時期にしか行えない樹皮採集体験も行います。

※森林ツアーの様子が一部収められた「白樺プロジェクト紹介動画」もご覧ください。→



- 内容：7月5日 12:30 北海道大学雨龍研究林研究棟(幌加内町母子里)集合
- 13:00 森林ツアー(ミズナラ天然更新地、原生林散策など)
- 16:00 自由時間(入浴など)
- 17:30 夕食、発表会(2時間程度)、交流会

- 7月6日 8:00 森林ツアー(シラカバ天然更新試験林見学など)
- 12:00 昼食(いったん解散)
- 13:30 (※希望者のみ)伐倒、樹皮採集体験など
- 15:00 解散

●参加費：7,000円(食費3食、宿泊費、保険料含む)

●募集人数：30~40名(子どもは、小学生高学年以上を想定しています)

●参加申込：kitokurashinokoubou@gmail.com(一般社団法人白樺プロジェクト 代表 鳥羽山聡)

氏名、性別(部屋割りのためにお聞きします)

血液型、携帯電話番号、所属等(記載は自由)と参加日(単日か両日か)をお知らせください。

主催：一般社団法人白樺プロジェクト(旭川市)、北海道大学雨龍研究林(幌加内町)／協力：北大森林研究会(札幌市)

※参加申し込みと森林ツアーの計画の詳細は、ホームページをご参照ください <https://www.shirakaba-project.jp/pg1386.html#WS>



ツアー参加を検討されている方へ

白樺プロジェクト/第5回森林ツアーとシラカバ樹皮採集ワークショップ計画書

一般社団法人白樺プロジェクト
代表理事 鳥羽山聡

「植林」ではなく、森本来の力を活かした「天然更新」による森づくり
これから半世紀にわたって研究林で行われる「シラカバ天然更新」の研究を通して、
北海道の森について一緒に見て触れて考えるツアーです。

かつて北海道は「森林資源は無尽蔵」と言われ、現在でも豊かな森林が広がっているように見えます。
しかし、戦後の大量伐採で太くて良質な木は激減し、特に広葉樹の自給率は日本全体で1割以下と言われます。
広葉樹は「世代交代」が難しくとても長い時間がかかり、人の手で育てづらい特徴があります。
では、北海道に住む私たちはどのように森を保全回復しながら、利用して行けばよいのでしょうか？

それを考える一つのカギとなるのが、これまで林業的な価値が低いとされてきた「シラカバ」です。
シラカバだけではなく他の樹種や森全体についても学び、森を歩き、座学も交えながら参加者と一緒に考えるツアーです。

また、この時期にしか行えない樹皮採集体験も行います。

※森林ツアーの様子が一部収められた「白樺プロジェクト紹介動画」もご覧ください。

<https://vimeo.com/1070169360?share=copy>

【お申し込みは、下記のメールアドレスまでお願いします。】

kitokurashinokoubou@gmail.com (一般社団法人白樺プロジェクト 代表 鳥羽山聡)

氏名、性別(部屋割りのためにお聞きします)、血液型、携帯電話番号、所属等(記載は自由)と参加日(単日か両日か)をお知らせください。

① 概要

主催：一般社団法人白樺プロジェクト(旭川市)、北海道大学雨龍研究林(幌加内町)

協力：北大森林研究会(札幌市)、

日時：2025年7月5日(土曜日)、6日(日曜日) ※単日のみの参加も可

※小雨程度であれば決行する予定です。長靴など林内散策用の履物をご用意ください。

場所：北海道大学雨龍研究林(幌加内町)

宿泊場所、発表会：北海道大学雨龍研究林研究棟内(幌加内町母子里)

参加人数：30名から40名ほどを想定

参加費：7,000円(学生5,000円)

※食費3食3,000円程度、宿泊費1,500円程度、保険料1,100円程度、協力費1,400円程度

※基本的に2段ベッドのある大部屋です(男女別)。

個室をご希望される方は、名寄市内のホテルなどを個別に各自でご予約をお願いします。

※食事は3食、名寄市内の仕出し弁当宅配業者をお願いします。ペットボトルのお茶を用意します。

※入浴は、研究棟内の大浴場で男女時間差を設けて入浴(夜中でも入浴可能)。

自由時間に、日向温泉に日帰り入浴可能(片道20分程度、550円)

内容及び日程：

7月5日 12:30 北海道大学雨龍研究林研究棟(幌加内町母子里)に集合、自己紹介、レクチャー等
(札幌から高速道路利用で約2時間40分・一般道利用で3時間40分、旭川から約1時間40分)

13:00 森林ツアー(ミズナラ天然更新地、原生林散策など)

16:00 自由時間(入浴など)

17:30 夕食、発表会(2時間程度)、交流会

※交流会のお飲み物(アルコールを含む)、おつまみは、参加者各自でご用意ください。

7月7日 7:00 朝食

8:00 森林ツアー(シラカバ天然更新試験林見学など)

- 12:00 昼食（ここでいったん解散）
- 13:30 （※希望者のみ）伐倒、樹皮採集など
- 15:00 解散（※この後、伐倒したシラカバ丸太、樹皮等を回収）

② 森林ツアー、樹皮採集ワークショップの内容

今回のツアーは、以下のようなことを参加者と一緒に考えて学びを深くするのが目的です。

- ・原生林見学を通して手付かずの北海道の森の姿やしぐみを知ってもらう。
- ・「植林」ではなく「天然更新」による森づくりの方法や、そのメリットについて知ってもらう。
- ・従来価値が低いとされてきたシラカバを通して、北海道の森林の保全と利用のバランスを考える

120年以上の歴史のある北海道大学雨龍研究林には、2万ha以上の広大な森に、原生林、天然林、試験林など多様な森があります。伝統的に「植林」よりも「天然更新」による森づくりが行われてきており、そのうちのいくつかの森を歩いて見学し、森の本来の仕組みや研究活動などに触れて頂きます。

特に今回は、これから半世紀にわたって研究活動の行われるシラカバ天然更新試験地で掻き起こし作業が行われています。ここは、昨年の夏のツアーで樹皮採集をし、冬には冬山造材見学のツアーを行った場所で、研究棟近くの国道沿いの見学しやすい場所にあります。今後のツアーでもシラカバ天然更新の研究に触れるのには絶好の場所になります。

合わせて、今回は2本程度のシラカバ材を伐倒し、樹皮採集体験を行いたいと考えています。採集した樹皮はワークショップ等での利用を見込み、伐倒したシラカバ材もなるべく回収し有効利用します。

③ 募集人数、参加予定者

研究棟の宿泊人数、バスの乗車人数を考え、30人から40人程度を予定しています。

毎年参加協力して頂いている北大森林研究会の学生メンバー、木育マイスターや森林関係者のほか、白樺プロジェクト関係者、研究林スタッフを加えて、一般の参加者も募集します。

一般の参加者は、森に関心があればどなたでも参加してほしいと思います。親子でも（子供は小学校高学年以上が望ましい）良いかと思います。ただ、地理的な遠さや2日にわたる日程ということでハードルの高さがあり、結果的にはかなり意欲がないと難しいかもしれませんが、森林に詳しくない人でも知りたいという思いを強く思っている人に来てもらえればと思います。

④ 準備するもの（服装、持ち物）

（個人）森林での作業に適した服装（肌を露出しない服装）、長靴またはトレッキングシューズ（林内はぬかるみもありますので汚れます。お帰りの際のことと考えてビニール袋も合わせて林内散策用の履物をご用意ください）、手袋、帽子、着替え、タオル、洗面道具、その他宿泊に必要なもの、雨具（合羽など）、飲み物、保険証、

※樹皮採集作業時、森林ツアー時にはヘルメットを着用してもらいます。ご用意できる方はご持参ください。お持ちでない方には、貸し出します。

※夏でもかなり冷涼なこともあります。暖かい服装もご持参ください。

※食事は用意しますが、見学時に水分補給できるように飲み物を各自持参してください。マイボトルなどをご用意して頂ければ、研究棟のお茶のティーバッグやお湯は利用できます。移動中におやつなどを食べて頂いても構いませんが、林内に食べこぼしなどを落とさないようにお願いします。

（主催者用意）ヘルメット、ナイフ・カッター、剪定ばさみ、手鋸、運搬具、スクレーパー、ブルーシート、虫よけスプレー、消毒液、救急箱その他安全対策として、鈴、クマ撃退スプレー、蜂に刺された時の対処薬・器具（エピペン、ポイズンリムーバーなど）

⑤ 宿泊、食事について

宿泊は雨龍研究林研究棟となり、大部屋で2段ベッドなどを利用してもらいます。寝具一式はあります。大浴場には、バスタオル、石鹸、シャンプー、ドライヤーなどはあります。（日向温泉入浴の方はバスタオルなど各自でご用意ください）。ハンドタオル、夜間着、洗面用具は各自でご用意をお願いします。

食事は、1日目の夕食と、2日目の朝食、昼食の3食を用意します。お茶などの500mlペットボトルを各回ご用意します。懇親会の飲み物、おつまみは各自持参してください。

自動販売機はございません（付近に無人の自動販売機はあります）。

[雨龍研究林 母子里宿泊施設 | FSC - 海から山まで網羅する16研究施設を統合する北海道大学北方生物圏フィールド科学センター \(hokudai.ac.jp\)](#)

（※宿泊料については、シーツ代、雑費が別途必要で今回の参加費に含まれています。食事代については休日のためお弁当を独自に発注しているため、ホームページの食事代とは異なります）

⑥通信環境と、1日目夜の発表会について

携帯電話がつながるのは研究棟付近だけとなります。林内ではつながりませんのでご注意ください。

研究棟ではWi-Fiを利用できます。

毎年、1日に目の夜に各参加者（参加団体）に発表をお願いしています。

発表は5分～10分程度で質疑応答を含めて15分以内を想定しています。参加するだけでなく発表も行って頂き、森林や林業や木に関わることの理解をお互いに深めて頂く良い機会になります。一般の方でも、何か発表したいという方がいればぜひお願いします。ただ例年好評で発表会の時間が長引く傾向にありますので、発表者が多い場合は希望に沿えないことがありますのでご了承ください。モニターを利用できるので、できれば各自パソコンをご用意ください（場合によってはつながらないことがありますので念のためUSBなどにデータを入れて持ってきてください）。パンフレット等もあれば配布することができます。

一般の参加者も参加しますので、より分かりやすい内容をお願いできればと思います。

—昨年話題となった「ササ枯れ」なども関係者がいれば話題提供をお願いします。

⑦安全対策について

<ヒグマ対策>まずは偶発的に遭遇しない。人の存在を知らせる。写真撮影などで単独行動をしない。万が一遭遇した時のためにクマ撃退スプレーを用意しておきます。

<スズメバチ対策>マダニ対策と合わせて、黒っぽい服は避ける。万が一刺されたときにアナフィラキシー反応が危惧されますが、備えとして研究林からエピペンを持参してもらいます。ただし、これは個人に処方されているものですので、基本的に他者に打つことはできません。命にかかわる状況で、他に選択肢がない場合に限って使うこととします。その他ポイズンリムーバーなども用意します。

<マダニ対策>首にタオルを巻いたり、裾を閉じたり、服の中への侵入を防ぐようにする。作業終了後はこまめにチェックし、なるべく早めに入浴する。

<事故対策>伐倒時は作業半径立ち入り禁止とします。チェーンソーで玉切りなどを行うときは十分離れた場所に移動する。林内ではヘルメットの着用を義務付けます。ヘルメットは研究林で用意してもらいます。軍手等の着用もお願いします。林内は笹でおおわれていることもあるので、転倒には気を付け、目をついたりしないよう注意してください。

樹皮採集時に刃物を使うので作業者は距離を取って注意しながら使う。切り傷などに備えて救急用品を用意しておく。また、立木から採集する場合は梯子等であまり高い位置に登らない。梯子を支える人に上から刃物などが落下しないように紐をつけておく。

<防寒対策、暑さ対策>雨龍研究林は標高が高いこともあり夏でも冷涼な寄稿です。念のため上着を1枚余分に用意してください。暑い時もありますので、水分補給用に十分な飲み物を持参してください。

※救急処置が必要な場合は、名寄市立総合病院の救急外来を想定しています。

[救急外来受診のご案内 | 名寄市立総合病院 \(nayoroch.jp\)](http://nayoroch.jp)

事前に電話での問い合わせが必要になります(01654-3-3031、名前、年齢、生年月日、症状を聞かれます、研究棟から車で30分程度)。保険証をご持参下さい。

⑧ 傷害保険については、あいおいニッセイ同和損保にて1日単位の屋外活動用の傷害保険を掛けます。2日間で一人1,000円程度の負担になります。

⑨採集した樹皮の扱いについては、白樺プロジェクトでいったん預かり、白樺プロジェクトの樹皮かご編みワークショップ等での利用を考えています。今回については、北大総合博物館の休憩室改装のプロジェクトでクラウドファンディングのリターンを製作することも検討しています。

⑩雨天時の対応

小雨でも決行しますが、悪天候が予想される場合は中止と致します。